

大学施設ベンチマーク調査資料

第4回 大学施設マネジメント研究会

2008.05.27

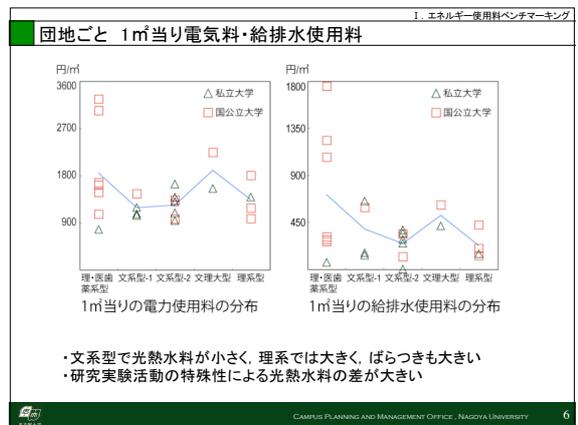
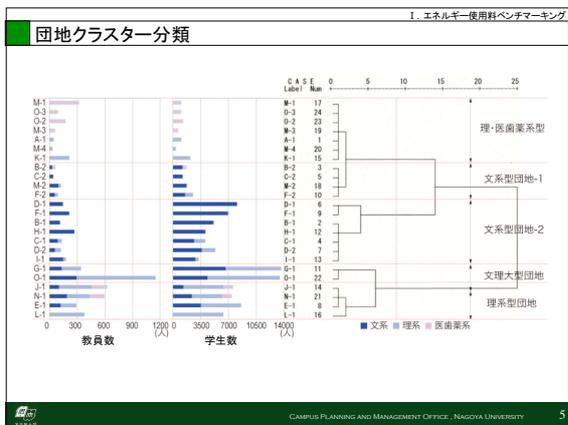
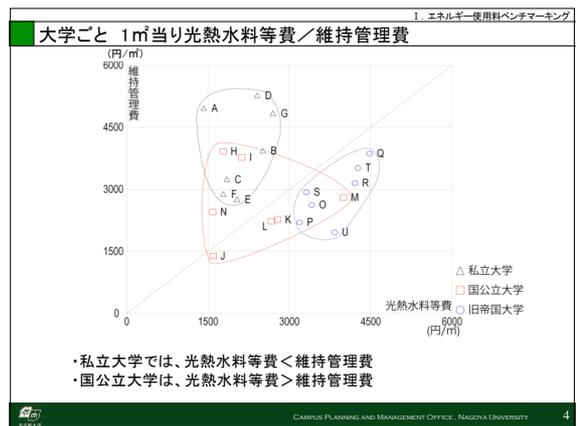
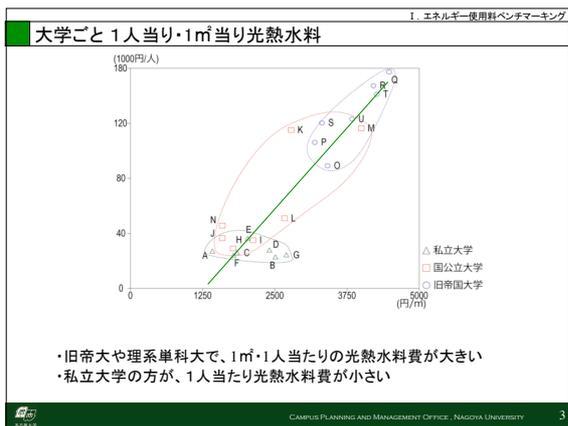

 名古屋大学
 工学部施設整備推進室
 恒川和久

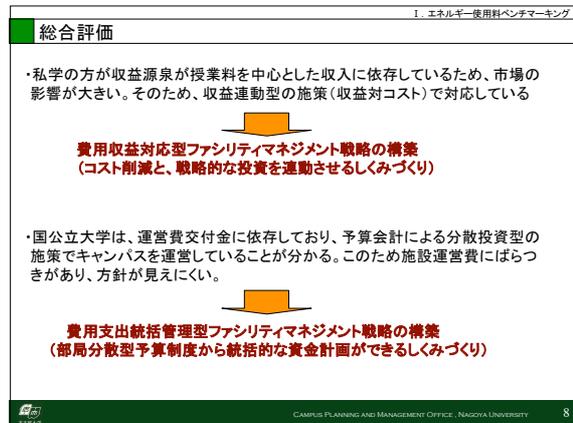
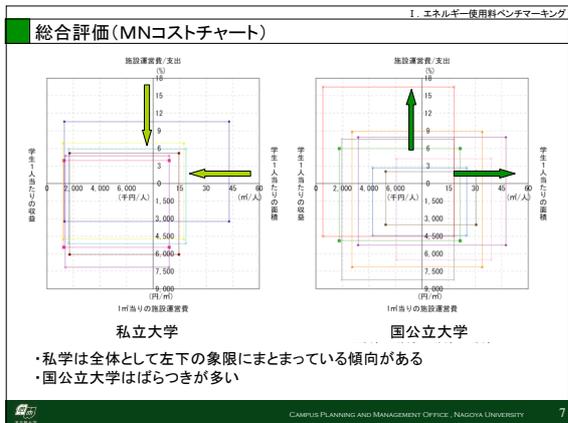
I. エネルギー使用料ベンチマーキング

施設運営費ベンチマーキング調査

- 調査対象大学
 - ・ 中部地方14大学 (私立6大学、公立2大学、国立6大学)
 - ・ 旧帝国大学7国立大学
- 調査項目 (平成17, 18年度)
 - ・ 人員数 (学部・大学院学生数、教員・職員数)
 - ・ 施設面積・棟数
 - ・ 収益 (経常収益、特別収益 (寄付金、外部資金等))
 - ・ 光熱水料等費 (電気、ガス、水道、電話、その他)
 - ・ 施設維持管理費 (修繕、点検保守・運転監視、清掃、警備、廃棄物処分、電話交換、緑地管理費)

CAMPUS PLANNING AND MANAGEMENT OFFICE, NAGOYA UNIVERSITY 2





- 名古屋大学環境方針
- 名古屋大学は、環境問題について正しく理解し適切に対処していくため、人文・社会・自然科学のすべての分野で体系的な取り組みを行う。
 - 名古屋大学は、学生に環境問題について正しく理解し考える力を身につけさせ、環境保全において率先して活躍できる人々を養成する。
 - 名古屋大学は、環境に関わる大学の施策のあるべき姿を、教職員・学生がともに考えていく。
 - 名古屋大学は、**自らが環境に及ぼす影響を客観的に把握し、環境負荷削減のための総合的・体系的な対策を行う。**
 - 名古屋大学は、地域環境や地球環境における諸問題に積極的に関心を持ち、地域社会に根ざすと同時に、国際社会とも連携しながら環境問題について考え、取り組んでいく。
- CAMPUS PLANNING AND MANAGEMENT OFFICE, NAGOYA UNIVERSITY 9

